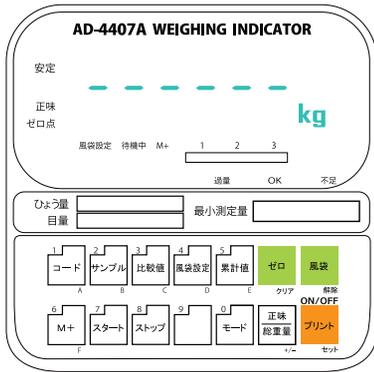
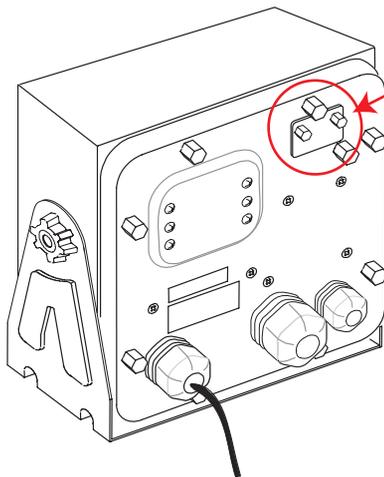


# AD4407A キャリブレーション (校正) の手順 1



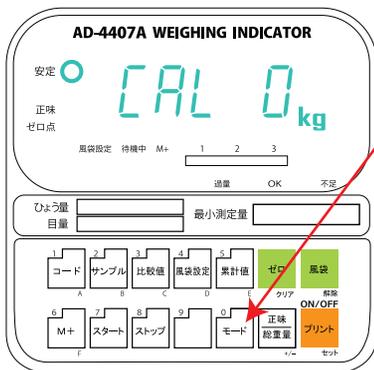
- ①ロードセル(はかり、ホッパー等)を接続
  - ②電源ケーブルを接続する
- 初期の表示値はランダムです



- ③本体裏にあるキャリブレーションスイッチのカバーをはずす  
ネジを外すためにレンチが必要です
- ④CAL キーを押す

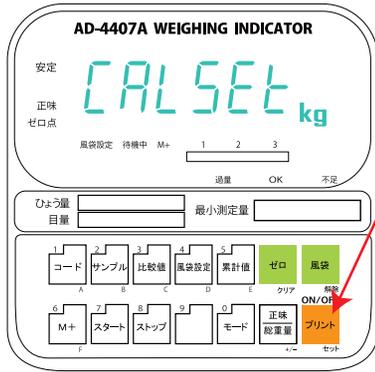


- ⑤2 秒間「CAL in」が表示される

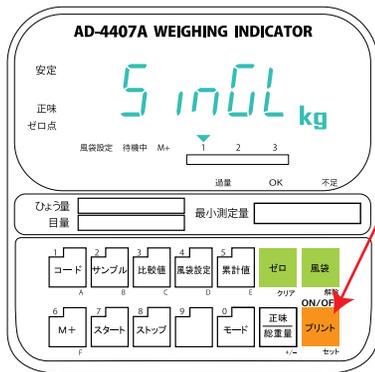


- ⑥モードキーを3回押します

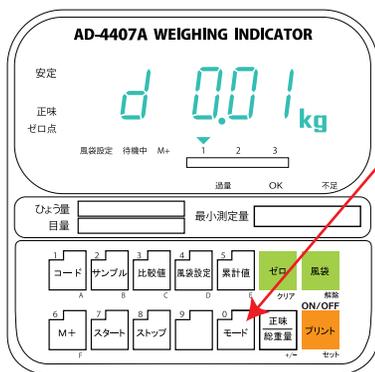
## AD4407A キャリブレーション(校正)の手順 2



⑦セットキーを押します



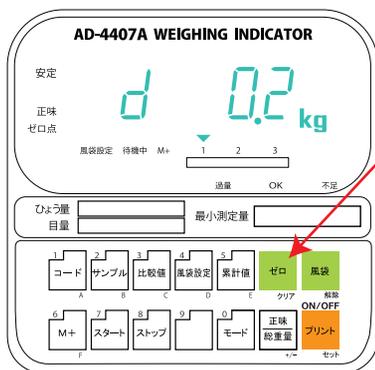
⑧セットキーを押します



### 小数点の設定

⑨モードキーを1～4回押し、任意の小数点位置を選択

0	0.1	小数点なし
1	0.1	下一桁
2	0.01	下二桁
3	0.001	下三桁

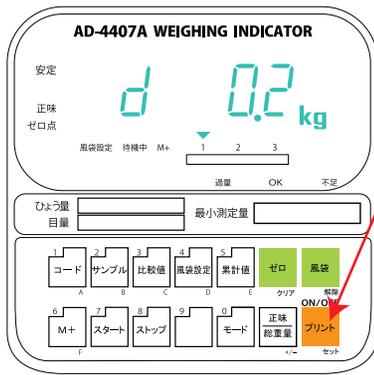


### 跳び数の設定

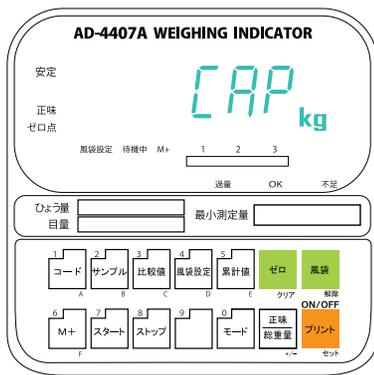
⑩クリアキーを1～4回押し、任意の目量を選択

0	0.1	1 飛び (1→2→3→4→5)
1	0.2	2 飛び (2→4→6→8→10)
2	0.5	5 飛び (5→10→15→20→25)
3	1.0	10 飛び (10→20→30→40→50)
4	2.0	20 飛び (20→40→60→80→100)
5	5.0	50 飛び (50→100→150→200→250)

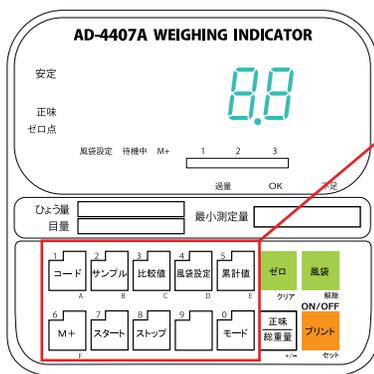
# AD4407A キャリブレーション(校正)の手順 3



⑪ セットキーを押します



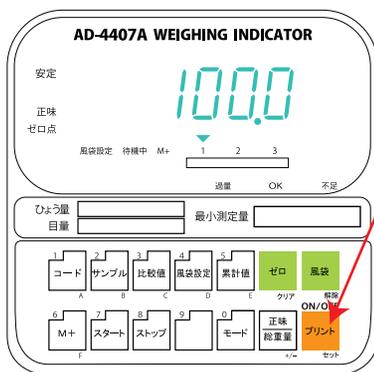
⑫ 2秒間「CAP」が表示される



## ひょう量の設定

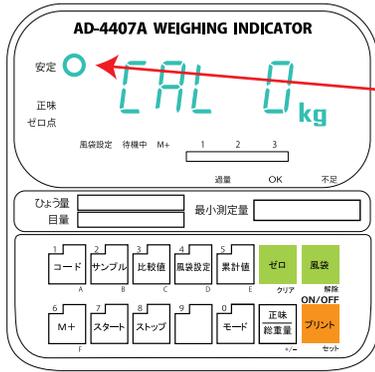
⑬ 0～9キーを押し、任意の数値を選択  
 小数点位置が0.1の際にひょう量を100.0kgと設定する場合

- クリアキーを押す (数値はランダムです)
- 1キーを押す
- 0キーを押す
- 0キーを押す
- 0キーを押す
- 設定完了



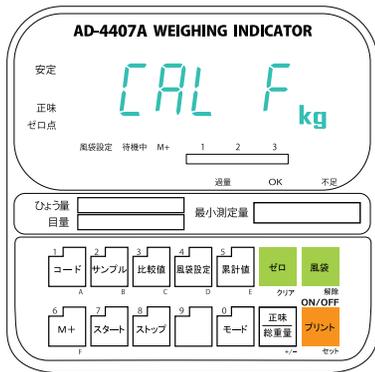
⑭ セットキーを押します

# AD4407A キャリブレーション(校正)の手順 4

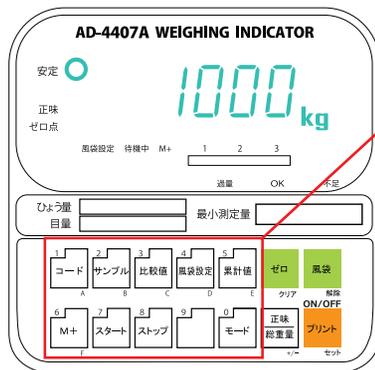


## キャリブレーションゼロ設定

⑮ はかり、ホッパー等(ロードセル)の上に何も無い状態で、安定マークが2秒点灯するのを待ち、セットキーを押す



⑯ 2秒間「CAL F」が表示される



## 分銅の設定

⑰ 0～9キーでお手持ちの分銅の値を設定する  
分銅が10kgの場合

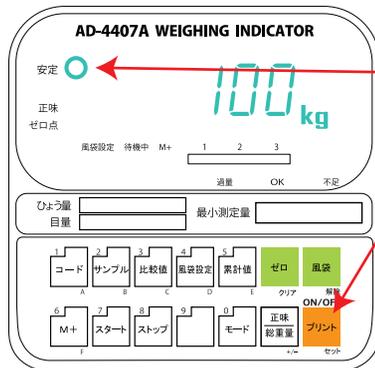
**1000** クリアキーを押す(数値はランダムです)

**0** 1キーを押す

**01** 0キーを押す

**100** 設定完了

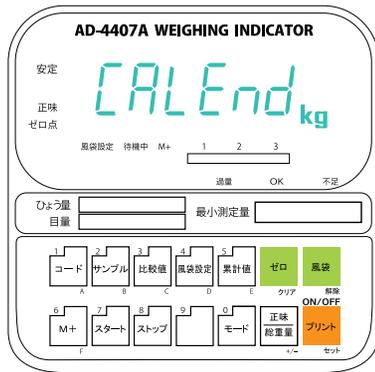
今回の例では100.0kgのひょう量設定ですが、この機種はキャリブレーションの際に表示に小数点が反映されないため、10.0kg分銅を100kgと設定します



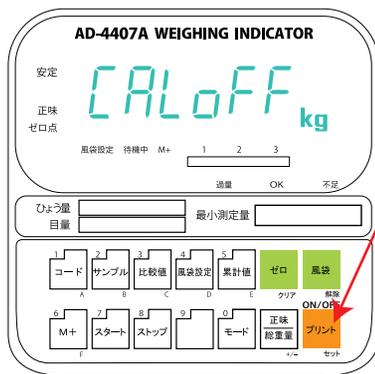
⑱ 分銅を乗せる

⑲ 安定マークが点灯したらセットキーを押す

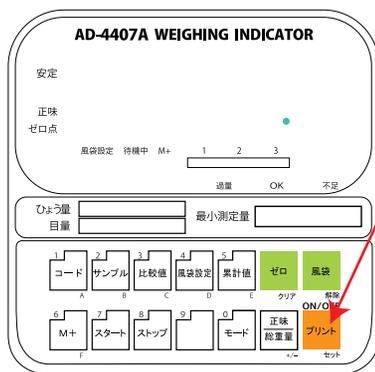
# AD4407A キャリブレーション(校正)の手順 5



- ⑳ 本体裏の CAL キーを押す (設定がメモリに書き込まれます)
- ㉑ 分銅を下ろす



- ㉒ ON/OFF キーを押す



- ㉓ ON/OFF キーを押し、設定完了